

令和5年沼津市教育委員会第4回定例会会議録

1 日 時 令和5年4月20日(木)
午後2時55分～午後4時45分

2 場 所 青少年教育センター2階 会議室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名(川口委員 重光委員)
- (3) 教育委員会出席者の紹介
- (4) 教育長報告
- (5) 議案
- (6) 協議事項
- (7) 報告事項

報告事項1 沼津市教育基本構想実施計画(令和3～7年度)への新規事業の追加について

報告事項2 令和5年度第42回沼津市わたしの主張大会について

報告事項3 令和5年度第39回こいのぼりフェスティバルの開催について

(8) その他

(9) 報告事項

報告事項4 令和4年度職員処分状況について

報告事項5 沼津市歴史民俗資料館移転整備基本構想(案)について

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 川口浩史、委員 土屋葉子、委員 重光純、委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育指導監兼学校教育課長兼情報教育推進室長 山崎巖、教育企画課長 原将史、学校管理課長 齋藤忠興、沼津市立沼津高等学校長 田中剛、沼津市立沼津高等学校事務長 藤井義昭、教職員研修センター所長 中嶋記恵子、文化振興課長 林敬博、生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 山本浩司、学校教育課副参事(教職員担当)兼教育委員会青少年教育センター所長 田中亮輔、図書館事務長 中澤芳子、文化振興課歴史民俗資料館長 芹澤一男、調整担当・教育企画課長補佐 内村一徳、教育企画課指導主事 栗原克弥、教育企画課指導主事 山梨あづさ、教育企画課主任 岩崎雄、教育企画課事務補助員 後藤恵

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後2時55分開会を宣言する。

奥村教育長 近頃は日が延び、暖かくなったり寒くなったりである。昨日は全国至る所で夏日

を記録し、本日は午後に真夏日を記録するのではないかと山梨県のある市が紹介されていたが、この時期にして熱中症に要注意と、ニュースで繰り返し流れていた。まだ身体が慣れていない状況であるため、皆様御自愛ください。年度の初めにあたり、会議の開催に先立ち少し時間をもらい、話をさせていただく。

4月11日には、教育委員の皆様にも早朝より校長会へ出席していただき感謝する。校長、私ともども背筋が伸びるようなお話をいただき、よい雰囲気スタートが切れたと思う。4月7日は雨天だったが、無事に市立の小学校、中学校、高校で、入学式及び始業式が行われた。昨年の入学者数と比べると、小学校は25人、中学校は66人減った。令和5年度の児童生徒数は、4月7日現在で、小学生が7,368人、昨年と比べ211人減である。そして、中学生は4,276人、昨年比で118人減った。合計すると11,644人、329人減になる。入学式は、来賓を招かず保護者の人数も限定し時間短縮で行った学校もあったが、感染対策を徹底しながらコロナ前の形に戻す学校も見られた。マスクの着用については個人や家族の判断に委ねているが、依然としてマスク着用率は非常に高いようである。本日も換気をしているが、多くの方が用心してマスクをしている。これから中学校では修学旅行や宿泊行事の準備、小学校では運動会の練習が始まる。予断を許さない状況は続くため、各学校には緊張感を持って健康管理に万全を期し、学びを保障できる体制づくりをお願いしたところである。また、皆様御承知のとおり、5月8日には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5類感染症へ移行する予定でもあるため、これまで子供たちのマスクの奥に潜んでいた表情や感情、心情に注視し、視野を広げ早めの対応に努めていきたいという話も校長会ではさせていただいた。

コロナ禍の3年間を振り返ると、全国的にいじめの重大事態の発生件数や児童生徒の自殺者数は増加傾向にあり、憂慮すべき状況である。不登校数は小学校低学年にも増加傾向が見られ、個々の状況に応じた学びの場など、評価を含めた適切な支援が求められている。また、学校における働き方改革については、その成果が出つつあるものの、依然として長時間勤務の教職員も多く、多忙化による教職のイメージダウンは否めず、教員採用試験倍率の低下や教師不足という事態も生じている。本市においても、2年連続で要求した新規採用教員数が削減された。加配教員等が未配置のまま4月をスタートせざるを得ない学校もあり、非常に申し訳ない気持ちで一杯である。皆様の中で何か情報があれば、是非情報提供の協力をお願いしたい。

また、御承知のとおり、今年は沼津市制100周年を迎える記念すべき年である。昨年度、皆様に御協力いただいた「カウントダウン写真」は、3月23日から市公式ホームページで公開が始まっている。これから次の100年に向けて、明るい沼津市を予感させる新たな一步を踏み出すための準備を進めているところだが、教育委員の皆様の写真は「68日前」のものであり、来週月曜日、24日に公開されるので是非とも御覧いただきたい。

さて、令和3年3月に、令和3年度からの5年間に本市の教育施策を総合的に進めていくための指針として沼津市教育基本構想を策定した。これは、幼児教育・

家庭教育・学校教育・社会教育を包括する本市教育の方向性を明確に示したものであり、今年度はちょうど取組の中間地点に当たる。周知のとおり、目的は、「誇り高い沼津を創造する 貴き志を持つ人づくり」であり、「人間力を磨く教育」と「地域総がかりで取り組む教育」の二つの柱を掲げ、目的の実現に向けて各施策・事業を体系づけて取り組んでいる。令和5年度から部活動の地域移行に向けた検討に本格的に着手するほか、全ての中学校区へのコミュニティ・スクール設置に取り組むわけだが、まさにこれは「地域総がかりで取り組む教育」の実現に資するものだと考えている。

部活動の地域移行とは、部活動を学校から切り離すことであり、コミュニティ・スクールとは、学校と地域、双方向の活性化に繋げる仕組みである。いずれも、これまで以上に学校が主体的に地域とともに歩んでいかなければならない仕組みである。地域総がかりで取り組む背景としては、少子化や教員の多忙化があり、学校運営が学校のみでは成り立たなくなっている状況がある。また、共働き家庭やひとり親家庭が増え、地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が変化する中、子育てに不安を持つ保護者も非常に多く、地域全体で家庭教育を支えることの重要性が高まっていることも挙げられる。こうした状況を打破していくためには、子供の学びの場として学校の安全確保は維持しつつ、学校が地域に対して主体的に関わり、学校の困り事への支援を地域にお願いするだけでなく、地域の側に立って地域の利益を喚起しながら協力していく考え方を、校長自らが持つ発想に転換していく必要がある。

沼津市教育基本構想の策定では、国の教育振興基本計画を参酌し、静岡県教育振興基本計画を参考にした上で、本市における最上位計画である沼津市総合計画や沼津市教育大綱を踏まえている。国では、今年度から5年間に推進する次期教育振興基本計画のコンセプトを掲げており、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」である。ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを言い、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む。また、個人のみならず、個人を取り巻く環境や社会が持続的に良い状態であることを意味する。不登校やいじめ、貧困など、コロナ禍や社会構造の変化を背景として子供たちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人一人のウェルビーイングの確保が必要となるのではないかと思う。教育基本構想に掲げる「誇り高い沼津を創造する 貴き志を持つ人づくり」の実現に向けて取り組んでいる各課の施策や事業は、国の次期教育振興基本計画の二つのコンセプトと密接にリンクしている。2年後には、沼津市でも令和8年度以降の沼津市教育基本構想を策定するが、現在の教育基本構想の理念は継承されると思っている。これからの学校教育は子供の主体性を伸ばすことが求められる。普段の生活の中で子供自身が様々な事象に関心を持つことが大切であり、そのためには探求力が非常に重要になってくる。本日の会議開始前に事務局から、「Uは沼津をIしてる？」という冊子の紹介があったが、昨年に引き続き市立沼津高等学校の1年生が、沼津の魅力を知り、多くの人にその魅力を伝えたいという思いで作った職業

人インタビュー冊子である。今年の特徴は、沼津市出身で一旦他地域に行ったが沼津市に戻り就職・転職した方（Uターンの方）や、他地域の出身でありながら沼津市で就職・転職した方（Iターンの方）にフォーカスしているところである。市立沼津高等学校では、地域に貢献できる人材育成を目指す「沼津未来創生プロジェクト」と称した探究学習に継続的に取り組んでいる。今回も沼津商工会議所青年部や市役所産業振興部商工振興課の協力を得て、インタビュー形式で多くの大人と関わり持ち、57にも及ぶ地元企業を紹介した。取材方法は、静岡新聞社東部総局の方に御教示いただいたと伺っている。多くの方々の協力を得て完成させたこの冊子を、市内の小学校5、6年生と中学校の各クラスに寄贈してもらったので、地域学習や沼津の魅力を伝えるキャリア教育の教材として活用していきたいと思っている。

また、昨年度から英会話によるコミュニケーション能力の育成として、県内でもいち早く全ての中学生を対象とした「英語パフォーマンステスト」に取り組んでおり、他市町から沼津市の取組が注目されている。1年生は自己紹介、2年生は沼津の魅力紹介、3年生は日本の魅力紹介が課題となっており、県外にいる初対面のALTと1対1で対話的なやり取りを行うというものである。現在マスコミから取材を受けており、今後はテレビや新聞で取り上げられるかと思う。また、外国籍や発達障害等、特別な配慮を必要とする幼児に対するインクルーシブ保育の研究も2年目となり、今年度は顕在化した課題を解決する取組を進めていきたいと思っている。

紹介したい取組はまだまだたくさんあるが、時間の関係でここまでとする。先程も申し上げたが、策定から3年目となる教育基本構想に掲げている「貴き志を持つ人」の育成に向けて、今年度も各課や市長部局と横断的な連携に努めながら取り組んでいくため、今後も教育委員の皆様のお支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に川口委員、重光委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育委員会出席者の紹介

教育委員会出席者の自己紹介及び今年度の各課の主要事業について説明する。

(4) 教育長報告

奥村教育長 出席行事、出席予定行事につきましては、一覧表のとおりとなっている。御質問等があれば後程お伺いするので割愛させていただく。

<議案>

奥村教育長 日程（5）議案は、本日は案件なし。

<協 議>

奥村教育長 日程（6）協議事項は、本日は案件なし。

<報 告>

奥村教育長 日程（7）報告事項である。

報告事項1 沼津市教育基本構想実施計画（令和3～7年度）への新規事業の追加について

<教育委員会事務局における令和5年度からの新規事業のうち、教育企画課が中心となつて行う「中学校部活動改革推進事業」を沼津市教育基本構想実施計画（令和3～7年度）に追加し、進捗管理を行っていく。>

（教育企画課長 資料に基づき説明）

奥村教育長 説明が終わった。部活動の地域移行について、国は令和5年度から7年度を改革推進期間としている。教育基本構想実施計画は、令和3年度から7年度のものであり、国が示す改革推進期間の中で沼津市として教育企画課が中心となつて取組を進める。本件に対する御質問、御意見等はいかがか。

令和6年度の事務点検・評価で、令和5年度分の進捗管理について評価するため、中学校部活動改革推進事業もその対象となる。

よろしいか。特になければ、本件は報告を受けたということで御了承願う。

報告事項2 令和5年度第42回沼津市わたしの主張大会について

<市内中学校に在籍する中学生が、日常生活の中で考えていることを広く市民に訴えることにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深めることを目的として、令和5年6月10日に市民文化センターにおいて、沼津市わたしの主張大会を開催する。市内19中学校で選出された代表生徒が、日頃抱いている思いや考えを発表する。この市内大会で発表された全ての作品を、静岡県「わたしの主張2023」の出場者応募原稿とする。>

（生涯学習課長 資料に基づき説明）

奥村教育長 6月10日（土）午後1時から行う。皆様、万障お繰り合わせの上、御来賓ということでお越し願いたいと思う。例年、わたしの主張大会をやっており、大体内容を理解されていると思うが、御質問等はいかがか。

特になければ、本件は報告を受けたということで御了承願う。

報告事項3 令和5年度第39回こいのぼりフェスティバルの開催について

<年々こいのぼりを掲揚する家庭が減少する中、各家庭で不用になったこいのぼりの寄付を募り、子供たちの健やかな成長を願い、狩野川の水とみどりの空間に群遊させ、その雄大な景観の下に市民のふれあいの場を創出するこいのぼりフェスティバルを4月29日から5月5日までの7日間開催することで青少年の

健全育成を図る。>

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 コロナの影響でなかなか開催できなかったが、4年ぶりに開会式並びにイベントを開催する。本件について、御質問等はいかがか。
- 佐藤委員 実際にこいのぼりが揚がるのは、あゆみ橋から御成橋までの短い区域か。これまでにいろいろと変遷があり、以前は、御園橋から永代橋の辺りに間隔を空けて揚がっていたのが、一時、港口公園にも行っていた。御成橋から永代橋付近で行われる親子ふれあいイベントには、こいのぼりがないのか。
- 生涯学習課長 委員のおっしゃるとおりである。河川敷の工事があり、その間使えなくなるため港口公園を使っていた。その後、狩野川にこいのぼりを揚げてほしいという声が地元の自治会等から上がり、再び狩野川で揚げることになった。こいのぼりの掲揚は、昨年度、一昨年度も行っているが、範囲はあゆみ橋から御成橋の区間になる。5月4日、5日の親子ふれあいイベントでは、ふれあい動物園や各種団体のイベント等を行う関係で、申し訳ないが、こいのぼりの掲揚は行わず、イベントのみを行うことになっている。
- 奥村教育長 ほかにいかがか。なければ、本件は報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

- 奥村教育長 日程（8）その他である。
何かあるか。なければ、残る日程は非公開とする。

報告事項4については人事案件であるため非公開とする。また、報告事項5は、公表前の事項が含まれているため当日は非公開としたが、公開できることとなったため公開する。

<報告>

- 奥村教育長 日程（9）報告事項である。

報告事項5 沼津市歴史民俗資料館移転整備基本構想（案）について

<沼津市歴史民俗資料館については、築後49年を経過し、施設等の老朽化が著しく進行している。また、国の名勝に指定された沼津御用邸記念公園の保存活用計画の中で景観と調和しない施設として位置づけられた。令和2年度に沼津市公共施設マネジメント個別施設計画が策定され、旧内浦小学校の校舎等を改修・整備して歴史民俗資料館を移転する方針が決定された。このため、令和4年度に学識経験者等で構成された策定委員会を3回開催し、移転整備基本構想（案）を策定したので報告する。>

(文化振興課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 経緯から基本理念等に至るまで説明があった。6月の文教産業委員会で、7月から8月にかけてパブリック・コメントをやることを報告し、9月中旬頃には決定するスケジュールまでが示された。本件に対する御質問、御意見等はいかがか。
- 川口委員 以前に原で仕事をしていたとき、駅前に収蔵庫があり、こんなところにあるのかと驚いた。以前から重要文化財がいろいろなところに分散しており、集中管理できないかという話があったため、とてもいいと思う。一つ気になるのは、津波は大丈夫だという説明であったが、海が近いためとても心配である。旧内浦小学校には1回ぐらいしか行ったことがないが、そのあたりは大丈夫なのか、もしくは対策があるのかをお伺いしたい。
- 文化振興課長 委員がおっしゃった原の収蔵庫だが、主に浮島の農機具、農耕具を収蔵している。今回の旧内浦小学校への移転に合わせ、これらもできる限りそちらへ持っていく。一部どうしても入らないものは、旧静浦東小学校に置かざるを得ないが、重要文化財、県の指定文化財については、できる限り旧内浦小学校の方に持っていきこうと考えている。津波の心配についてだが、現在の歴史民俗資料館がある場所は津波浸水区域である。ハザードマップでは、本館は3～5メートルの津波が来ると示されている。旧内浦小学校の一部は0.5～1メートルの津波浸水区域であるが、校舎があるため、2、3階は大丈夫だと考えている。現在の御用邸記念公園よりは、津波の心配が少ないため、メリットは大きいと考えている。
- 奥村教育長 つまり、展示は2、3階にするのか。
- 文化振興課長 そのとおりである。重要文化財については、2、3階に展示する。船等の大型のものは入らない場合があり、1階に展示したいと考えている。元文化庁調査官である策定委員会委員からは、1階でも流れないようにすればよいのではないかという御意見もいただいている。国の重要文化財等をお預かりしており、決して疎かにはできないため、調整して配慮する。
- 奥村教育長 ほかにいかがか。
- 土屋委員 現在ある歴史民俗資料館は、景観が損なわれるという話だったが、移転後は、更地にするのか、それとも、何か別のものを設置するのか。
- 文化振興課長 移転後は取り壊す予定である。
- 佐藤委員 現在の歴史民俗資料館は、御用邸を見に行っただけで訪れる可能性があると思う。しかし、旧内浦小学校は、静浦街道をずっと行き、長岡に向かう道を登って行く。今は、たくさんいらっしゃるラブライバーが寄る可能性があるかもしれないが、長期的に見ると、わざわざ行かない限り見ない場所であるため、基本方針にある「情報発信と交流・観光機能を加えたにぎわいづくりの場」となるよう、今後の活用を期待したいと思う。
- 文化振興課長 その点が、我々も一番危惧しているところであり、重要なポイントだと思っている。内浦地区には、重要有形文化財の漁撈用具、渋沢栄一の嫡孫である敬三が長期滞在した旅館があり、文学では井上文学や太宰、美術では梅原龍三郎の油絵もある。新しい歴史民俗資料館では、昔、内浦地区にはこんなに

素晴らしい方々がいた、こういう文化や芸術があることなどを示し、委員がおっしゃられたとおり、今はラブライバーがたくさん来ているので、そこから沼津に散っていただき沼津を感じてもらおうと考えている。旧内浦小学校に、そのようなガイダンス機能を持たせるつもりでいる。

川口委員

旧静浦西小学校の文化財センターに行ったことがあり、そのときに気になったのがトイレの臭いである。古い校舎を使っているため、清掃の問題ではなく排水等の影響があると思う。文化財がある場所としては、イメージが悪くなってしまうため気を使った方がいいと個人的に思った。

文化振興課長

大変失礼した。文化財センターの職員が毎朝清掃しているが、こまめに清掃等をするよう指導する。

奥村教育長

本日は歴史民俗資料館の館長もお見えになっているので、何かPRや補足等があればお願いします。

歴史民俗資料館長

歴史民俗資料館の移転について、移転先、来場者の関係等で御意見をいただき感謝する。文化振興課長も申し上げたとおり、移転先の旧内浦小学校にガイダンス機能を含めていく。内浦は南部地域の窓口でもあり、伊豆の国市との境でもある。これはまだ決定ではないが、例えば、自転車でお見えになる方もいらっしゃるので、そういうコースに入れる等、いろいろな観光、スポーツとも連携してやっていきたいと考えている。今回は基本構想であり、方向性のみを説明したが、今年度から基本計画に入るため、来年にかけてより具体的な計画を作成していきたいと思う。今後の報告の中でも、委員の皆様に御意見をいただき、このような事例がある等、是非教えていただければと思う。併せて、いろいろな方に歴史民俗資料館が内浦に移ることも紹介していただければ幸いである。

奥村教育長

今後、パブリック・コメントを行った結果や基本計画の状況等も報告いただけたらと思う。よろしくお願いします。

ほかになれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。

ほかになれば、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後4時45分 閉会